

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今期は、運営推進会議の開催が滞っていた。2か月毎に必ず行い、運営の在り方について、広く意見を頂き、サービスの向上に努めていきたい。	「運営推進会議」を2か月毎に、必ず実施する。	1、構成メンバーに、職員を1～2名増員し、資料作成や構成、日程調整を分担する。 2、書記を置き、意見の内容を具体的に記録する 3、一方的な報告だけに終わらないように、今後の運営の在り方について意見を頂く。開催日の設定	1～2ヶ月
2	26	記録用紙の見直しを行い検討しているところだが、重複している部分や記録にかかる時間が負担になり、ケアサービスの低下にならないように更なる見直しと統一が必要。	記録の見直し・効率化・情報の共有化を図る	1、記録用紙の検討会を開く 2、個人記録の大事な部分には、アンダーラインなどでフォーカスする。 3、連絡ノート活用・ケア会議の定着・活用	2～3ヶ月
3	1	昨年から、介護理念として「共に一緒に」を掲げたものの、業務に追われて寄り添いの姿勢や理念の実践ができていなかった。	介護理念「共に一緒に」を実践できる。	1、業務の見直し(ハード面・ソフト面) 2、職員自身が心のゆとりを持ち、利用者と向き合う 3、定例会等で理念の浸透を図る	3～6ヶ月
4	7	新規採用者や、入社半年の間での離職率が高い	職員の定着率を上げる。	1、全体定例会で、自由な意見が出しやすい雰囲気を作る 2、定期的な個別面談(3～6か月に一回程度) 3、働きやすい環境づくり(労働条件・労働時間・体制) 4、新人研修の充実	3～12ヶ月
5		介護職員の看取りについての、知識不足が見られる。受け入れるまでの、心構えやスキルがない。	「看取り」に対する、知識や心構えを培う	1、勉強会を暫時行う。(1度や2度では、培えない)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6		事故発生後の報告書は出ているが、個人の振り返りにのみに終わっている。	事故の再発防止に向けての、取り組みを強化できる。	1. 事故報告書を勉強会で随時報告し、全体での情報の共有のもとで、対策案を検討する。	3～12カ月
7	6	日常的に「ちょっと待って」という言葉が多くなってきている。	「身体拘束」を行わないケアの実践・言葉の身体拘束を廃止する。	1、勉強会や検討会を行う。(知識や認識) 2、ケアの工夫や声かけの工夫を考える。	3～12カ月
8	35	消防訓練は出来ているが、その他の災害対策の準備が不十分である。	災害対策への準備体制の確立	1. 勉強会や検討会を行う。(知識や認識) 2、備蓄の充実・充足 3、緊急時の持ち出しリストの作成(貴重品・内服・人物像・写真など)	12カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。